

環 境 会 計

環境保全に関係した投資・費用を定量的に把握し評価するために、環境省の「環境会計ガイドライン 2007 年版」を参考に 2013 度の環境会計データを集計しました。

2013 年度は、排気サイレンサー・煙道更新、油分拡散防止施設設置工事、電気炉の修理などのコストが大きな割合を占めました。

(単位：百万円)

分 類		取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	排気サイレンサー・煙道更新、油分拡散防止施設設置工事、ボイラー更新、排水処理施設修理など	48.2	66.0
	地球環境保全コスト	厚生棟ボイラー更新、浸炭炉保温改善工事、運転場エリアライト交換、空調電力監視システム増設、電気炉の修理など	4.5	17.0
	資源循環コスト	廃棄物定期処理など	-	46.9
上・下流コスト	グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額コスト	-	-	-
管理活動コスト	環境情報取得、環境負荷監視及び事業所内美化	EMS 認証取得、サーベランス、騒音、水質等環境測定など	2.7	19.7
研究開発コスト	環境保全製品の研究開発及び製造段階における環境負荷抑制	船用ディーゼルエンジン排ガス規制対応研究など	-	2,061
合 計			55.4	2,210.6

環境保全対策による経済効果		売却量(t)	売却額 (百万円)
有価物等の売却額①	鉄くず・切粉	2,124	36.3
有価物等の売却額②	木材、ダンボール、油性廃油	132	1.2